

西井川小学校 教育目標

ステップアップスクール

地域から学ぶ学習を通して、主体性をもって自律的な学びを深める児童の育成

ナンバーワンスクール

郷土を愛し、郷土と関わりながら主体的に取り組む児童の育成

確かな学力と豊かな心を備えた心身共に健康な児童の育成

めざす学校像

- ・楽しい学校（子供にも教師にも）
- ・安心・安全な学校（心身共に安心して学べる）
- ・地域とともにある学校（開かれた学校づくり）

めざす児童像

- (い) いきいきと根気よくやり通す子
 - ・目標をもち、さいごまでがんばる。
 - ・様々なことに前向きにチャレンジする。

- (か) かかわり合いともに学ぶ子
 - ・人の話を聞き、自分の意見を言える。
 - ・学び合いを通じて、考えを深める。

- (わ) わかる喜びをもち進んで学ぶ子
 - ・自ら課題を見つけ、探求する。
 - ・進んで発表する。

- (に) にこやかに 心も身体も元気な子
 - ・あいさつができる。
 - ・健康・安全に気をつけて生活する。
 - ・きまりを守る。

- (し) しんせつで なかよく助け合う子
 - ・自分も人も大切にし、協力できる。
 - ・相手を思いやる。

信頼される学校

笑顔あふれる学校

支え合い、助け合うチーム西井川

○教育に対する情熱や使命感

- ・いつも子供と真摯に向き合う。
- ・子供の気持ちによりそいながら、よさを見つける。

○幅広い教養と専門性

- ・魅力ある授業を行う。
- ・学び続け、子供とともに伸びる姿勢を忘れない。

○豊かな人間性や社会性

- ・互いに信頼し、高め合う。
- ・「チーム学校」という意識をもち、連携・協力する。

本年度の努力事項

考える子（知）

学力向上

- ・定期的に漢字、計算の確認テストを行い、基礎学力の定着を図る。
- ・ICT機器を積極的に活用したり、発表する機会を多く設定したりするなど、授業を工夫し、表現力の向上を図る。
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業を推進する。

ICTの活用

- ・各学年段階での情報活用能力向上とプログラミング教育の推進を図る。
- ・デジタル教科書やタブレットを積極的に活用した授業改善を推進する。

読書活動の推進

- ・家庭との連携や読書カードの活用により年間目標値低学年120冊、中学年60冊、高学年30冊をめざす。
- ・毎週火曜日は、朝読の時間を設ける。
- ・毎月「読書の日」は、1日15分以上の読書時間を家庭学習課題とし、「ノーマディアデー」とする。

家庭学習の習慣化

- ・家庭学習の手引きの活用や自主学習ノートの指導(け・テ・ぶ・れ)により主体的な家庭学習の習慣化を図る。
- ・授業の終わりにふりかえりを行い、家庭学習につなげる。

地域教育力の積極的な活用

- ・地域諸団体や学校支援ボランティアの方々との交流を通して豊かな心、社会性の育成とともにコミュニケーション能力の育成を図る。

思いやりのある子（徳）

道徳教育

- ・児童同士、また、教師による「いいところ見つけ」を推進し、学活等で紹介することにより、よいことを進んでする児童の育成を図る。
- ・豊かな体験活動を通して、児童の内面に根ざした道徳性の育成を図る。
- ・家庭、地域との連携を図り、道徳的実践力のある児童を育成する。

人権教育

- ・「きみのことおしえて」シートを定期的に実施し、いじめ・差別の早期発見、解決を図り学校に行くのが楽しい児童100%をめざす。

特別支援教育

- ・児童の実態に応じた合理的配慮を行い、児童の学ぶ権利を保障する。
- ・ポジティブな行動支援を学校全体で推進し、児童を承認したり、称賛したりすることで適切な行動を引き出す。

生徒指導

- ・あいさつ運動を実施し、「西小あいさつの木」をあいさつシールでいっぱいにする。
- ・朝夕のあいさつの習慣化と進んであいさつができる児童100%をめざす。
- ・スマホ、ゲーム、テレビの時間について、家庭でのルールを守れる児童を育成する。

家庭・地域との連携

- ・参観日、学校行事への保護者の参加率向上を目指し、学校と保護者、保護者同士の連携の強化を図る。

健康な子（体）

体力向上

- ・体育の授業や西井川小タイム、放課後体育活動を充実させ、「体力向上計画」をもとに、体を動かすことが好きな児童、体育が好きな児童の育成を図る。
- ・外遊びのできる環境の充実を図り、児童が進んで運動に取り組めるよう環境を整備する。

食育

- ・朝ご飯を食べてきた児童が100%になるよう家庭と連携していく。

健康教育

- ・「学校保健計画」をもとに生活リズムチェックや保健教育を充実させ、基本的な生活習慣の定着を図ると共に、疾病を予防する児童90%以上をめざす。
- ・心身の健康問題を早期に発見し、解決するための校内外の連携を図る。
- ・様々な感染症に対して正しい知識をもち、予防しようとする行動がとれる児童を育てる。

防災・安全教育

- ・地域や関係各機関と連携した防災教育を実施する。
- ・年3回(不審者・地震・火災)の避難訓練を行い、自ら避難行動がとれる児童を育てる。



西井川林業クラブと緑の少年隊
キャリア教育の礎



三世交代流学習会
地域の方を指導者に体験学習

三世代交流学習会
地域の方を指導者に体験学
習



伊座利校との交歓学習
海と山の学校の交流(腕山でスキー
)



西井川林業クラブと緑の少年
隊 キャリア教育の礎



グループホームひばりへの
定期訪問 お年寄りとの交流



地域と連携した防災活動
地域とのつながり(心肺蘇生法
)



学校支援ボランティアの高い活用率
地域教育力を活かして



西井川っ子夏祭り PTAの結集
「みんなの笑顔咲かせ隊」親の思い

